

万博のテーマとシンクロする 『兵庫県版テーマウィーク』

大阪・関西万博の会期中、地球規模の8つの課題の解決策について参加国や自治体が議論する「テーマウィーク」に連動し、県も「ひょうごEXPO week」として万博会場や県内各地で学会、展示・物販、交流会などテーマに沿ったイベントを展開します。(県万博推進課)

テーマ 食と暮らしの未来

コウノトリと、トキと、食・地域の未来と。
～兵庫県・豊岡市×新潟県・佐渡市環境創造型農業サミット～

兵庫県や豊岡市、新潟県、佐渡市が取り組んでいる生物多様性に配慮した先進的な農業の取り組みを、大桃美代子さん(タレント、農政ジャーナリスト)の講演や小学生の学習発表などで紹介します。無料。

- 日 6月7日(土) 10時～17時(予定)
- 新 豊岡市民会館 定500人(先着)
- 申 6月5日(木) 17時までに(土)で県農業改良課へ
- ☎ 078-362-9210 ☎ 078-341-7733



詳しくは
こちら

テーマ 健康とウェルビーイング

well→噛むEXPO'25

“ひょうご健口推進部長”であるお笑いコンビ「ジャルジャル」(写真)らによるトークショーや企業の体験型ブースを通して、オーラルケアの大切さを伝えます。無料。



- 日 6月28日(土) 13時～16時30分
- 新 神戸新聞松方ホール(神戸市中央区)
- ◆出演=ジャルジャル(後藤淳平さん、福徳秀介さん)、坂中哲人さん(大阪大学予防歯科学講座講師)
- 定500人(先着)
- 申 6月20日(木)までに(土)で県健康増進課へ
- ☎ 078-362-9109 ☎ 078-362-3913



詳しくは
こちら

姫路市の安志加茂神社の境内にある「あじさいの里」では、6月中旬に約1,200株のアジサイが見頃を迎えます。10年ほど前からシカに葉を食べられるようになり、一時は壊滅状態に。そんな時、市立安富中学校や地域団体等による「安富町花あじさい復活プロジェクト」が立ち上がりました。現在のアジサイは、生徒たちが校内で育てた苗を移植したものです。最盛期と比べると5分の1の量ですが、ここまで持ち直してくれたと感慨深いものがあります。皆さんの思いが詰まった大輪をぜひ見に来てください。(安志加茂神社宮司 真田慶樹さん)



安志加茂神社

- 新 姫路市安富町安志407
- ☎ 0790-66-3180
- ☎ 0790-66-3216

詳しくは
こちら



植栽作業の様子。安富中学校の取り組みは、昨年度の「ひょうごSDGsスクールアワード」で優秀賞を受賞しました。

中学生が大活躍 復活目指すアジサイの名所

過疎地域の産業を守る マルチワークを支援

2020(令和2)年に創設された国の特定地域づくり事業協同組合制度は、安定雇用の創出と地域づくり人材の確保を目指す地方の事業組合を支援する制度です。県内では香美町、淡路市、丹波篠山市で組合が設立され、繁忙期などに応じて、職員をマルチワーカー*として複数の職場に派遣します。過疎地域の新しい働き方として注目を集めています。(取材・文 本紙編集部)

*季節や時間によって複数の仕事に携わる人のこと

- 新 県地域振興課
- ☎ 078-362-9008 ☎ 078-362-3950



詳しくは
こちら

自分の可能性を発見するきっかけに

淡路市地域づくり事業協同組合は2022年、市内の5社が設立しました。6人いる職員の一人、昨年4月に入組した西川夏瑞さんは、漁の最盛期は水産加工会社、観光シーズンはすし店で働いています。「農業に興味がありましたが、いきなり就農するのは不安でした。組合なら自分に合う仕事が見つかるのではと思いました」と西川さん。入組して最初の1カ月を水産加工会社、次の1カ月を営農組合で働いた結果、農業よりも魚をさばくことに魅力を感じました。「包丁を握ったこともなかったのに、自分でもびっくりです」。今夏には組合を卒業し、すし職人の道に進みます。

漁の最盛期には魚を加工する



観光シーズンにはすしを握る

